



平成 26 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 安 永
代表者名 代表取締役社長 安永 暁俊
(コード番号 7 2 7 1 東証 市場第 2 部)
問合せ先 常務取締役 管理本部長 浅井 裕久
TEL 0 5 9 5 - 2 4 - 2 1 2 2

第 4 次中期経営計画について
(2014 年度～2016 年度)
～『グローバルニッチNo.1』に向かって～

当社グループは、このたび2014年度から2016年度までの3年間の事業戦略や数値目標を定めた第4次中期経営計画を策定しましたので、その骨子をお知らせいたします。

記

第3次中期経営計画(2011年度～2013年度)では、地域、顧客、製品での「グローバルニッチNo.1」を目指し、独自技術を育ててトップ企業になることを基本戦略の中核に据えて、グローバル展開を進めてまいりました。

海外拠点については、韓国およびタイに製造拠点を上げるとともに、インドネシア工場の拡大を図りました。

新事業創出については、R&D本部で進めてきた研究開発成果として、『二次電池用穴あき突起集電箔打・塗工・乾燥装置』『シリサイド系熱電変換材料・発電素子』を発表しました。

しかしながら、売上利益に寄与するまでには今しばらくの時間がかかること、また機械装置事業の市場低迷のため、業績の数値目標については、計画達成には至りませんでした。

第4次中期経営計画も、継続して積極的にグローバル展開を進めるとともに、当社の強みを生かして、より強固な地位を目指してまいります。ニッチ市場でトップになることで、顧客と近くなり協業体制を育みながら、顧客の問題解決をより一層進めたいと考えております。

I. 基本戦略

お客様に信頼される技術・製品・サービスを創造し、高い付加価値を提供し続ける企業を目指し、以下の3つの項目を重点施策として取り組んでいきます。そのための基盤とすべく職場の環境づくりとして、現場での活発な議論と個人が積極的にチャレンジしていく企業風土を作り上げ、環境変化の早い時代に対応した人材育成に努め、活力ある職場を目指していきます。

① 「グローバルニッチNo.1」

得意分野への一段の集中により、成長・収益・価値のバランスの取れた事業戦略を推し進め、地域、顧客、製品での「グローバルニッチNo.1」を積み重ね、企業価値の向上を果たす。

韓国、タイ製造拠点の安定した成長、インドネシアの一層の拡充、また海外生産拠点のさらなる展開を目指す。

② 「新事業の創出」

R&D本部が進めてきた新事業創出のための研究開発成果である、『二次電池用穴あき突起集電箔打・塗工・乾燥装置』『シリサイド系熱電変換材料・発電素子』の事業化を目指す。

③ 「財務体質の強化」

第3次中期経営計画と同様に、引き続き「自己資本比率」と「ROE」の向上に取り組んでいく。

II. 事業戦略

【エンジン部品事業】

自動車メーカーが主として内製している重要なエンジン部品については、当社がその設備を製造していることと、精密切削加工を得意分野としていることから、国内外の自動車メーカーからの信頼を得て取引を頂いており、当社グループの収益の柱となっております。

自動車メーカーが、現地生産・現地調達の高比率を高める傾向にあることから、自動車メーカーの生産体制に合わせた生産拠点の体制強化を進めます。

前中計から新しく戦略製品に加えたカムシャフト・クランクシャフトの受注にも成功いたしました。今後も戦略製品である5C部品（コネクティングロッド、シリンダーヘッド、シリンダーブロック、カムシャフト、クランクシャフト）の受注活動に注力していきます。

特にコネクティングロッドは、国内外の工場を活用し、グローバルに受注活動を展開していきます。

当社は、海外生産拠点の体制整備や、自動車メーカーの新型エンジンへの切替えにより、設備投資等一時的な費用が、エンジン部品事業収益のマイナス要因となります。

しかしながら、世界市場の自動車需要動向では、今後、新興国を中心としたモータリゼーションが進んでいくことから、依然成長を続けると予想されております。当社としては、ビジネスチャンスが多くあると考えますので、積極的に受注活動に注力していきます。

また既存製品の安定生産（最高品質の追求）とさらなる原価低減に取り組み、利益改善に努めます。

【機械装置事業】

独創的なコア技術で、ニーズを先取りしたモノづくり技術を創出し、安定的な利益が確保できる事業を目指して取り組んでいきます。

工作機械は、北米、アジアを中心に、コネクティングロッド、軸物（カムシャフト、クランクシャフト）加工専用設備に特化した営業活動に注力します。中国では山東安永を活用し、中国国内での営業活動を強化し、中国市場への拡大を狙います。

ワイヤソーは、パワー半導体向けSiCやGaN、スマートフォンカバーや大口径LED用のサファイアといった高硬度材市場向けと、太陽電池向け新型ワイヤソー他、戦略製品をタイムリーに上市し、売上拡

大を目指します。

検査装置は、半導体チップの微細化と積層化に対応する高精度検査ユニット、車載用半導体向けの高精度検査ユニットを搭載したスキャナー、太陽電池向け新型検査装置の受注活動に注力し売上拡大を目指します。

【環境機器事業ほか】

「浄化槽用エアープンプ」「燃料電池用エアープンプ」「デイスポーザ」の3本柱で業界No.1の地位を固めるべく、さらなるシェア向上に努め、環境分野で社会に貢献していきます。

Ⅲ. 業績の数値目標

2016年度の連結業績の数値目標値を、以下の通りとします。

(金額単位:百万円)

	売上高	営業利益	営業利益率(%)
エンジン部品事業	21,900	170	0.8
機械装置事業	7,660	430	5.6
環境機器事業ほか	4,440	420	9.5
合計	34,000	1,020	3.0

Ⅳ. 連結財務ベースの長期的な数値目標

自己資本比率	ROE (自己資本利益率)
40%以上	継続的に10%以上

Ⅴ. 利益還元の基本方針

株主の皆様への還元につきましては、長期的な経営基盤の確保に努めるとともに、安定的な配当の継続を基本方針としております。今後の利益配当につきましては、成長に必要な設備投資などの内部留保を考慮して、総合的な判断により積極的に利益還元をはかっていく所存であります。

以上